



個人の部で農林水産大臣賞を受賞した大場さん(手前左から2人目) - 東彼杵町総合会館

全国茶生産青年茶審査競技会

障害者就労支援でそのぎ茶の生産、販売を手掛ける東彼杵町の社会福祉法人あゆみ会(大内田信之理事長)に、新たに茶葉の選別機が導入された。

おいしいお茶 届ける



新たに導入された茶葉の選別機 - 東彼杵町蕪郷

同会は日本財団の補助金約310万円を活用し、トラックも購入した。茶葉や農作物の運搬に使う予定。(熊本陽平)

11日から佐世保市で開かれる全国お茶まつり長崎大会に先立ち、「第31回全国茶生産青年茶審査競技会」が10日、東彼東彼杵町であり、個人の部で同町の生産者、大場真悟さん(29)が県勢初となる1位の農林水産大臣賞を獲得した。団体では本県が2位に入った。全国15府県の茶生産者105人が茶の品質を鑑定す

団体本県2位

審査は3種類。出場者は茶葉の入った器を手に真剣な表情で外観をチェック。香りや味も確認しながら産地や品種を判断し、解答用紙に記入した。そのぎ茶は、9月の全国出品評会の蒸し製玉緑茶部門で悲願の日本一を獲得。今回の競技会も、地元での日本一を目標に掲げ、9月下旬の予選会以降、代表以外の生産者も協力して、特訓を重ねてきた。4回目の挑戦で、農林水産大臣賞を受賞した大場さんは協力してくれた仲間のおかげ。多くの日本一を受賞した。今年をスタートとし、もっとそのぎ茶を広めていきたい」と意気込みを語った。(熊本陽平)

設や県内のスーパーなどで販売している。購入には、競輪振興などに取り組む財団法人JKKA

の補助金約580万円を活用。同会は「作業効率上がり、納期日数も短縮できた。日本一になったそのぎ茶の産地として、おいしいお茶を作りたい」としている。

大場さん(東彼杵) 日本一 個人の部

僧侶の



読経とジャズ奏者

ジャズピアノ

魅了した。会場に募金箱も設置。寄せられた約24万円は日本赤十字社を通して、九州北部豪雨の被災者支援などに充てられる予定。CDは2枚組で20曲を収録。3千円。問い合わせは同寺(電0956・82・2025)。(熊本陽平)

体験、思い 日本語で

佐世保市ハウスステンボス町の長崎国際大で4日、外国人留学生の日本語弁論大会があり、日本での体験や日ごろ感じる文化の違いについて発表した。審査の結果、中国からの留学生で、

人間社会学部国際観光学科4年の陳明輝さん(21)が最優秀賞を獲得した。大学はアジアなどから約200人の留学生を受け入れている。弁論大会には中国、韓国、ベトナムから9

防犯訓練 備

佐世保署は8件を想定した防犯訓練を実施した。佐世保市京坪町の行佐世保店で実が対応方法を確

